

三珠中学校
学校便り

礎

ishizue

令和4年6月14日
文：校長 丹沢伸也

6月に入り、1学期も半分以上が過ぎました。先週の木曜と土曜には、3年生の部活動の集大成となる峡南地区夏季総合体育大会が行われました。県の夏季総体に向け、7月まで活動は続くわけですが一つの区切りとなりました。今後は6月24日に行われる、地区陸上競技会、6月末の学期末テストに向けて力を向けることとなります。また、今年度は感染症対策を行う中で、3年ぶりに水泳の授業も行うこととなりました。これから暑さも増し、熱中症等も心配されますが、安全に配慮しながら教育活動を進めていきたいと思います。

峡南地区夏季総体実施 多くの部が県総体へ出場



今回の総体では、剣道の部の個人戦に2年生男子が出場し交流戦で勝利を収めることもできました。今回の大会に限り3年生の保護者のみ観戦が認められ、多くの保護者がそれぞれの競技の応援に来てくれました。保護者の応援も生徒を後押ししてくれました。ありがとうございます。今月24日には地区の陸上競技会が行われます。そこでも是非三珠中の力を他校に見せることができることを期待したいと思います。

6月9日と11日に夏季総合体育大会が行われました。結果は下に示したとおりです。3年生を中心とした部も大変健闘し、選手権大会で県大会出場を逃した雪辱を果たした部もありました。7月に行われる県の選手権大会、県総体にするすべての部が参加することになり、今回の地区総体で引退となる部は一つもなく、ここ数年なかった快挙です。どの部も、三珠中学校の力を多くの学校の前で示すことができましたのではないのでしょうか。

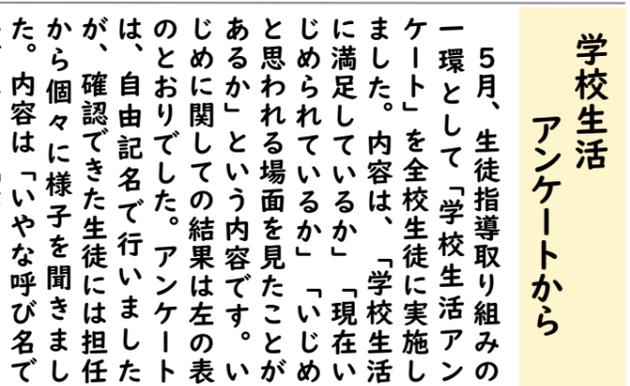


- 野球 パート2位
 - 【1日目パート予選】三珠中 9-1 増穂中 勝利
 - 【2日目パート決勝】三珠中 0-10 南部中 惜敗
- 男子バレーボール 3位
 - 三珠中 1-2 市川中 惜敗
 - 三珠中 0-2 南部中 惜敗
- 女子バレーボール 2位
 - 【1日目予選リーグ】三珠中 2-0 身延中 勝利
 - 三珠中 2-1 六郷中 勝利
 - 3チーム中1位通過
 - 【2日目準決勝】三珠中 2-0 増穂中 勝利
 - 【決勝戦】三珠中 0-2 南部中 惜敗
- ソフトテニス部 団体戦3位
 - 【個人戦】3年ペア組がベスト8
 - 2年ペア組がベスト16
 - 【団体戦】
 - ▷グループリーグ戦 2位
 - 三珠中 2-1 畷沢中 勝利
 - 三珠中 1-2 増穂中 惜敗
 - ▷順位決定戦
 - 三珠中 2-1 身延中 勝利
 - 三珠中 2-1 市川中 勝利
- 卓球部男子 団体戦優勝
 - 【個人戦】3年生 準優勝
 - 【団体戦】優勝
- 卓球部女子
 - 【個人戦】3年生 準優勝



2年生を中心に 壮行会が行われました

地区総体に先立ち8日（水）に生徒会による選手壮行会が行われました。参加する部からそれぞれの意気込みが発表され、続く選手宣誓では、代表の2名が仲間、指導してくれた先生、そして応援してくれた保護者に感謝の言葉を述べると、コロナ禍の中で大会に参加できることへの感謝の言葉が発表されました。続いて、2年生による応援が行われました。選手のみならず、下級生の応援を力に変え、次の日に行われる最後の地区の大会に全力で臨んだことと思いきや、ここまで、2年生が中心になって応援団を組織し練習を重ねてきました。3年生に頑張ってもらいたい、という気持ちで、伝わる壮行会となりました。



プール清掃を行いました

今年度、感染症対策を行ういながら水泳の授業を行うことはお知らせしました。コロナ禍の中実施できなかったため、3年ぶりの実施となりました。6月2日には、生徒・職員で時間を分けてプールの清掃を行いました。

日本には、多くの学校にプールがあり、水泳の授業があります。外国ではそれは珍しいことで、小中学校にプールがないという話を聞きました。日本で水泳の授業が行われたのは、島国で、川も多いことから昔から「水練」という、昔の泳ぎ方を学習させていたこと、船の事故で多くの子供が亡くなったこと、海で「水練」の最中に、子供が溺れて亡くなったこと、事故があったりして、全国の学校でプールが作られるようになったのだそうです。

そういった歴史からも、コロナ禍の中であっても自分の身を守るための「術」として水泳を学ぶ機会を保障していきたいと思っています。

今年度、感染症対策を行ういながら水泳の授業を行うことはお知らせしました。コロナ禍の中実施できなかったため、3年ぶりの実施となりました。6月2日には、生徒・職員で時間を分けてプールの清掃を行いました。

日本には、多くの学校にプールがあり、水泳の授業があります。外国ではそれは珍しいことで、小中学校にプールがないという話を聞きました。日本で水泳の授業が行われたのは、島国で、川も多いことから昔から「水練」という、昔の泳ぎ方を学習させていたこと、船の事故で多くの子供が亡くなったこと、海で「水練」の最中に、子供が溺れて亡くなったこと、事故があったりして、全国の学校でプールが作られるようになったのだそうです。

そういった歴史からも、コロナ禍の中であっても自分の身を守るための「術」として水泳を学ぶ機会を保障していきたいと思っています。

5月、生徒指導取り組みの一環として「学校生活アンケート」を全校生徒に実施しました。内容は、「学校生活に満足しているか」、「現在いじめられているか」、「いじめと思われる場面を見たことがあるか」という内容です。いじめに関する結果は左の表のとおりでした。アンケートは、自由記名で行いましたが、確認できた生徒には担任から個々に様子を聞きましした。内容は「いやな呼び名で呼ばれる」、「陰口を言っているようだ」、「友達同士の声掛けの内容がきつい」といった内容でした。

生徒の意識の中で、「いじめ」と感じていなくても、行動や言葉のやり取りの中で、結果的に不快に感じたり、いやな思いをしている生徒がいることは事実なので、それを受け止め、職員も指導をしていくとともに、生徒にもそういう思いをいっている仲間がいることを考え、言葉遣いや行動を振り返ってほしい、と伝えていきます。

学校生活アンケートから

	1年	2年	3年
1 いじめられている	2名	1名	0名
2 いじめと思われる場面を見た	2名	0名	0名

地域学校協働本部 設置に向けて

5月27日夜、市川三郷町役場で、市川中学校学区「地域学校協働本部設立総会」が行われ、オズバーンという立場で参加しました。この「地域学校協働本部」は、町の教育政策の一つで、地域と学校との連携、協働を目的に、三珠地区、市川地区、市川南地区、六郷地区にそれぞれ設置するもので、市川南地区は既に設置され、市川地区は本年度、そして三珠地区、六郷地区は令和5年度の設置を予定しています。

三珠地区設置に向けてのオズバーンが参加しましたが、三珠地区でも今年度より設置に向けた準備を進めていくこととなります。本部の役割は、学校が地域と協力して進める活動、生徒が地域に出て進めるボランティア活動を支える組織となります。協働本部の職員は地域の方々、PTA、職員で構成することになります。詳細については今後PTAや学校便り等で、その年度お知らせしますが、令和5年度より始めることをご承知おきください。

マスク着用は、 熱中症対策を優先して

今後の夏の気温上昇により熱中症が心配されるころですが、このたび、国から「夏季における児童生徒のマスクの着用」について通知がありました。要点は、

熱中症が命に関わる重大な問題であること
○体育の授業、運動部活動の活動中、登下校中はマスクの着用が不要な場面であること
○これらの場面では熱中症のリスクが高いことから、熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導すること。
○そのうえで、「できるだけ距離をあける」、「近距離での会話を控える」、「屋内の部活動では常時換気を行う」という内容です。今後は、このような考えで指導をしていきますが、生徒、保護者の皆様ともにご承知願います。